

# 第3回 ICETT資源循環セミナー

## ～共に紡ぐ繊維の未来～

2025年3月26日 水 13:30▶16:30 参加無料

**会場** イオンコンパス名古屋駅前会議室（定員30名）

Zoomウェビナーにてオンライン配信します。（定員480名）

国際的な動向を受けてあらゆる製品の資源循環の必要性が急速に高まっています。繊維製品については国としても大量生産・大量廃棄からの転換が課題と捉えており、政府による制度策定、企業や研究機関による技術開発、地域や産官学の連携などの資源循環を推進する取組が積極的に行われています。

繊維産業を取り巻く環境、資源循環の現状や課題に対する理解を深めるだけでなく、先進的な事例を学ぶことで、繊維の資源循環の可能性を探る機会とともに、他の製品への応用を考える機会としてセミナーを開催します。

### 主なプログラムと登壇予定者

#### 基調講演

#### 環境配慮設計・資源循環に向けた産官学連携の取組 ～繊維産業をモデルとして～

信州大学 繊維学部 教授 森川 英明氏

#### 政策紹介

#### 繊維製品の環境配慮等のサステナビリティへの対応について（仮題）

経済産業省 製造産業局 生活製品課 係長 山下 大貴氏

#### 企業事例紹介

#### ウール混衣料の回収・循環プロジェクト「WAONAS」

ニッケ（日本毛織株式会社）衣料繊維事業本部  
マーケティング部専門部長 馬場 武一郎氏

#### 地域課題に貢献する中部電力の資源循環の取り組み（仮題）

中部電力株式会社 経営戦略本部 地域インフラ事業推進室  
営業企画ユニット長（課長） 水谷 浩子氏

会場では  
セミナー終了後、  
名刺交換会を  
行います

#### 参加申込方法

[ICETTホームページ](#)

または

右記の二次元コードからお申し込みください



会場参加



Zoom参加

◆要事前登録◆  
◆3月25日迄◆  
◆先着順◆

※登壇者は事前のお知らせなく変更になることがあります。ご了承ください。

主催：公益財団法人国際環境技術移転センター

後援：経済産業省 中部経済産業局（依頼中）、三重県、四日市市、一般社団法人中部経済連合会

## ～繊維の資源循環を巡る最近の動向～

経済産業省によると、2022年に日本で手放された73万トンの衣類のうち65%はリユースないしリサイクルされず、廃棄されています。回収された衣類の分別に係る手間や、繊維の混紡や染色などが繊維のリサイクルを難しくしています。

こうした状況の中、経済産業省は2030年に向けた「繊維製品における資源循環ロードマップ」で、衣料品の回収量の増加や資源循環システムの構築、環境配慮設計の推進等の具体策を示すなど、繊維の資源循環を主導しており、企業や研究機関による技術開発、地域や産官学の連携など、繊維の資源循環を推進する多様なセクターによる取組も積極的に行われています。

## 会場のご案内

### イオンコンパス名古屋駅前会議室 RoomA

〒453-0015愛知県名古屋市市中村区椿町18-22 ロータスビル5F

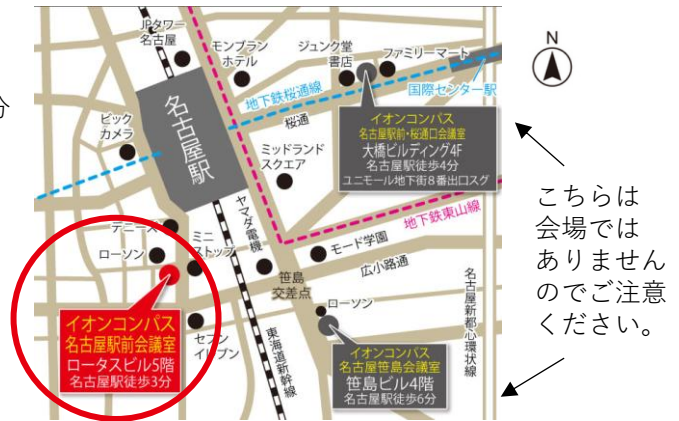
#### アクセス

#### 交通機関

- ・ JR名古屋駅 新幹線口（太閤通口）より徒歩3分
- ・ JR東海道本線 名古屋駅 太閤通口 徒歩3分
- ・ 名古屋市営地下鉄 名古屋駅 徒歩5分
- ・ 近鉄名古屋線 近鉄名古屋駅 徒歩5分
- ・ 名鉄名古屋本線 名鉄名古屋駅 徒歩5分

#### 駐車場

専用駐車場はございません。  
周辺駐車場にご駐車ください。（有料）



## 登録・参加にあたっての注意事項

資料の配布方法については開催中にご案内させていただきます。  
録音・録画は固くお断りいたします。

#### 会場参加の方

- ・ 会場参加の方は受付フォームで仮受付をさせて頂き、後ほど送られるメールをもって本受付とさせていただきます。定員に達した場合は仮受付をさせて頂いても受付をお断りさせていただきますのでご了承ください。
- ・ 会場の受付は13:00開始を予定しています。

#### オンライン配信をご覧の方

- ・ ご登録後、ご記入いただいたメールアドレスに「no-reply@zoom.us」より、「ICETT」の名前で登録確認メールが配信されますのでご確認ください。
- ・ オンライン入室開始時間は13:20を予定しています。時間になりましたら、登録完了メールまたは開催前のリマインドメールに記載されています参加 URL をクリックし、ご参加ください。

お問い合わせ先：公益財団法人国際環境技術移転センター（ICETT／アイセット）  
TEL：059-329-3500、E-mail：cegroup@icett.or.jp  
担当：辻野、黒田（直）